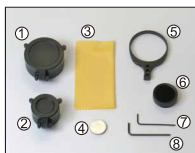
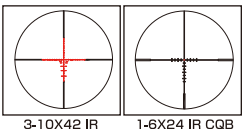


ABSOLUTE

1-6X24 IR CQB / 3-10X42 IR

取扱説明書



付属品

- ① フリップオープンキャップ(接眼側)※
 - ② フリップオープンキャップ(対物側)※
 - ③ リーンングクロス
 - ④ リチウム電池
 - ⑤ スロームカバー
 - ⑥ ハニカムサンシェード
 - ⑦ 六角レンチ(小)・スローレバー用
 - ⑧ 六角レンチ(大)・リボジション用
- ※写真は1-6X24 IR CQB用(3-10X42 IRにも付属)

	1-6X24 IR CQB	3-10X42 IR
倍率	1~6倍	3~10倍
レンズ径	24mm	42mm
チューブ径	30mm	30mm
M. O. A.	1クリック=1/2M.O.A.	1クリック=1/4M.O.A.
アイリリーフ	1x=105mm/6x=90mm	1x=100mm/10x=90mm
全長	280mm	338mm
重	500g	650g
水平作動幅	60M.O.A.	30M.O.A.
高低作動幅	60M.O.A.	30M.O.A.
F. O. V.	1x/34m, 6x/5.7m	3x/9.2m, 10x/2.4m
付属品	フリップオープンキャップ ハニカムサンシェード スローレバー	フリップオープンキャップ ハニカムサンシェード スローレバー

ABSOLUTE SCOPEシリーズの特徴

- 視界を邪魔しない薄型ノブ 各調整ノブは背が低く設計されており、照準時に視界を邪魔しません。
- 豊富な付属品 フリップオープンキャップの他、ハニカムサンシェードやスローレバーも付属。
- グリーンマルチコーティング 全てのレンズに特殊なコーティングを施しクリアな視界を実現。

付属品の使い方



付属するハニカムサンシェードは、対物レンズ側に装着することができます。ねじ込むときには斜めにならないように気をつけてください。



付属するスローレバーをパワーセレクターに装着することで、ターゲットの拡大率を素早く簡単に変更することができますようにになります。

銃にマウントする前に

● 焦点合わせ・ディオプター調整

視力は各個人で異なりますので、接眼部にある「ディオプター」を使って調整しておく必要があります。



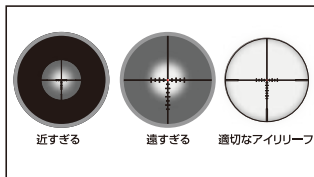
壁や空などの形のない明るいところをスコープで見たときにレティクルがクッキリ見えるように、ディオプターを回して調整します。



スコープは、レンズを覗いたときに空中にレティクルが投影されるようになっています。ディオプターは、その投影される距離を調節するためのものです。

ABSOLUTEの取り付け

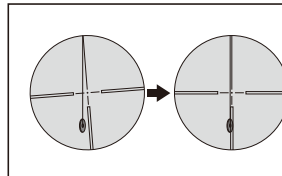
スコープが十分にその能力を発揮するためには、銃に正しくマウントされていることが非常に重要になります。適切な高さ・位置・向きに、十分に強固にマウントしてください。



銃に取り付けられているマウントベースと、ABSOLUTE SCOPEに選んだ、品質の高いマウントリングを使用してください。

まず、マウントリングの下側のみを銃のマウントベースに取り付けます。スコープをマウントリングに載せ、前リーフと後リーフが適切になっているかどうかを確認します。実際に銃を構えてみて、適切なアイリリーフが取れるかどうかを確認します。

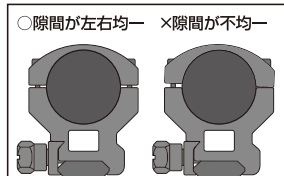
アイリリーフとは…スコープは目と接眼レンズの間に、ある程度の距離を置いた状態で使用します。その距離をアイリリーフと呼びます。近すぎても遠すぎても、正しい照準ができません。実際に銃を構えてみて、適切なアイリリーフが取れるようにスコープを取り付けてください。



レティクルの水平・垂直を合わせます。銃を平らなところに置いた状態で垂直なもの(コインを吊り下げた糸など)をスコープで見て、糸とレティクルの線の縦が揃うようにするなどの方法があります。



マウントベースにマウントリングを固定しているスクリュウを十分に締めてから、マウントリングの上側を取り付け、各部のスクリュウを締め付けます。スクリュウは一面所だけをいきなり全部締め付けるのではなく、全体が均等に締まっていくように注意してください。



マウントリングが正しく取り付けられた場合、左図のように上下マウントリングの間には左右均等な隙間が空くように作られています。もし右図のように左右の隙間が不均一になっているようでしたら、スクリュウを緩めてから左右均等になるように締め直してください。

ゼロインの前に

カバーキャップ

ABSOLUTEのエレベーション/ウインデージ調整ノブにはカバーキャップが被せられています。キャップを外せば調整ノブは手で回すことができます。



センター合わせ

ABSOLUTEは、出荷時にレティクルがおおむね中心に来るように調節してありますが、一度別の調節して使用したことがある場合などは、マウント前に一度レティクルをセンターに戻しておくことをおすすめします。



エレベーション/ウインデージ調整ノブを時計回りに、それ以上動かなくなるまで時計回りに、次に回数を数えながら反時計回りに動かなくなるまで戻した。その数の半分だけ時計回りに戻してください。

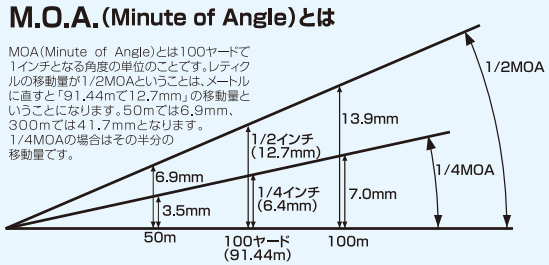


厳重注意

ABSOLUTEを装着する前に、常にエアガンに弾が入っていないこと、撃てる状態になっていないこと、安全装置がかかっていることを確認してください。これは装着のつど必ず実行してください。

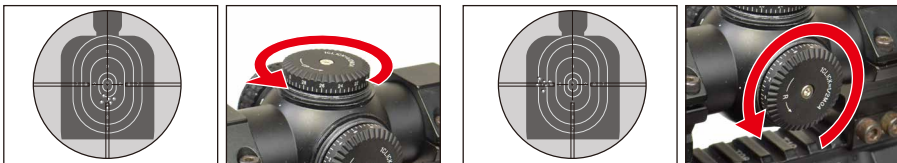
注意

エレベーション/ウインデージスクリュウを無理に回さないでください。エレベーション/ウインデージスクリュウをいっぱいまで回した状態から、さらに無理に回すことは損傷の原因になります。



ゼロイン

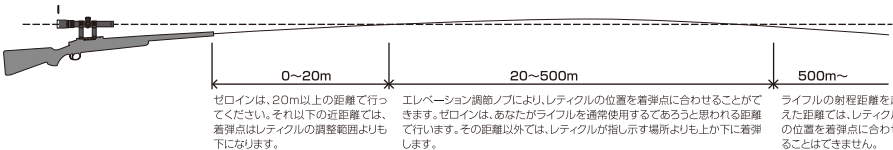
ある特定の距離でターゲットの中心を狙って撃ったときに、中心に弾着が集まるように調節することをその距離におけるゼロインと呼びます。ゼロインをする時には、1発だけではなく同じ場所を狙って数発を撃って、そのまとまりを見て調節することが重要です。



狙った場所より下に当たる場合…エレベーション調節ノブを「UP」の方向に回します。上に当たる場合はその逆です。

狙った場所より左に当たる場合…ウインデージ調節ノブを「R」の方向に回します。右に当たる場合はその逆です。

光は真っ直ぐ進みますが、発射した弾はおおむね放物線を描いて飛びます。レティクルの中心に弾が当たるのは最大で2つの距離だけで、それ以外の距離では弾はレティクルの中心より上か下に当たります。



リポジジョン

エレベーション/ウインデージ調整ノブの目盛り位置を変更することができます。



リポジジョンは、ゼロインを行った後に、目盛りが「ゼロ」の位置に来るように再調整するものです。調整ノブの中心にあるセットスクリューを、付属する六角レンチを使って緩めます（調整ノブが回らないように手で抑えてください）。

ホワイトドットが、目盛りの「ゼロ」と一致するようにダイヤルを回転させ、セットスクリューを元通りに締め込んで完了です。

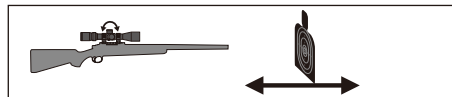
サイドフォーカスノブの使い方

サイドフォーカスノブは、ターゲットまでの距離とレティクルが投影される距離を一致させるためのものです。



ターゲットまでの距離に合わせてスコープ左側面にあるサイドフォーカスノブを調整します。フォーカスを合わせるができる距離は最短で10mになります。

※ABSOLUTE 3-10X42IRのみ



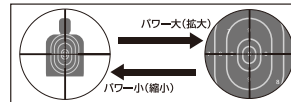
サイドフォーカスノブの調節により、ターゲットとレティクルを同一フォーカスに合わせることができます。適切に調節すれば、レンズを覗く位置によるレティクルのスレ(バララックス)もゼロになります。

パワーセクター(ズーム)の使い方

パワーセクターを回転させることで、ターゲットの拡大率を変更することができます。



パワーセクターを回転させることで、ターゲットの拡大率を変更できます。



大きな数字ではターゲットは大きく、小さな数字では小さく見えます。どこにいるかわからないターゲットを探すときは小さな数字、より精密に狙いたいときは大きな数字に合わせてよいでしょう。

イルミネーションレティクルの使い方

レティクルの中心が赤く発光する機能があります。暗い場所で照準するときを使用します。



スコープの左側面にあるダイヤルがイルミネーションスイッチです。「0」以外に合わせる点灯します。



レティクルの中心部だけが赤く点灯します。ダイヤルを回すことで明るさを11段階に調節できます。



スイッチダイヤルが回らないように押さえた状態で蓋だけを回して外し、バッテリーを交換します。CR2032リチウム電池を1個使用します。

メンテナンス

ホコリや汚れはまずエアダスターやブロワーで吹き飛ばし、落ちない汚れは柔らかい布などで拭き取ってください。使用しない時は付属のレンズキャップを装着してください。可動部分は恒久的な潤滑がなされていますので、油を差したりしないでください。

トラブルシューティング

●狙った場所に当たらない

調節ノブの範囲に収まらない…マウントベースがエアガンに対して真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。撃つたびに当たる場所がズレる…マウントベースとエアガンがしっかりとガタなく固定されているか確認してください。

●イルミネーションが点灯しない

電池が入っていない……………説明書どおりに電池を挿入してください。
電池切れ……………電池を新しいものに交換してください。
電池の向きが逆……………バッテリーケースを開けて、「+」が上になるように入れ替えてください。